

令和4年7月28日

(一社)北見医師会の皆様
北見地区消防組合長様
居宅・施設等介護保険事業所の皆様
各関係機関の皆様

北見市医療・介護連携支援センター長
北見市保健福祉部 地域包括ケア担当主幹

在宅医療・救急医療連携セミナーの開催について(ご案内)

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より、高齢者福祉の推進につきまして、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、令和4年度の北見市高齢者等支援ネットワーク会議、医療・介護連携推進部会において承認されました標記のセミナーを開催いたします。高齢化の進展に伴い、高齢者の救急搬送は増加の一途を辿る中で、在宅で最期まで療養することを希望する本人の病状が急変した際、本人の意思に沿わない救急搬送が増加することが懸念されています。本事業は人生の最終段階における医療・ケアに関する本人の意思が尊重されることを目的に、在宅医療と救急医療の関係者間で連携ルールを運用できるよう、連携ルールの内容の検討や運用に向けた工程表の策定等に取り組むことを目的として開催いたします。

つきましては、下記のとおり標記セミナーを開催いたしますので、時節柄ご多忙のことと存じますが、貴機関・団体よりご出席いただきますようお願い申し上げます。

なお、新型コロナウイルス感染予防対策を行い開催させていただきますが、体調の悪い場合は出席を控えて頂きますようお願いいたします。

記

1. 日 時：令和4年9月17日(土) 13:00～15:30
2. 場 所：ホテル黒部 1階 大雪(北見市北7条西1丁目1)
3. 内 容：別添実施要項及びチラシの通り
4. 申 込 み：別添実施要項または開催チラシの URL または二次元コードより申し込み
5. そ の 他：新型コロナウイルスの感染状況により中止となる場合があります。

以上

申し込み・問い合わせ先

北見市医療・介護連携支援センター 担当：関

北見市中央三輪2丁目302-1 北星記念病院内

電話 0157-51-1244 メール kitami.medicare@nouge.gr.jp

在宅医療・救急医療連携セミナー事業 実施要項

1. 目的

医療提供体制及び地域包括ケアシステムの構築に当たっては、個人の尊厳や本人の意思がより尊重され、人生の最終段階を穏やかに過ごすことができる環境の整備が求められている。高齢化の進展に伴い、高齢者の救急搬送は増加の一途を辿っている中で、在宅で最期まで療養することを希望する本人の病状が急変した際に、本人の意思に沿わない救急搬送が増加することが懸念されている。地域において、本人の病状、希望する療養場所や延命措置に対する希望等、本人の意思を共有するための関係機関間の連携体制の構築が喫緊の課題となっている。

本事業は人生の最終段階における医療・ケアに関する本人の意思が尊重されることを目的に、在宅医療と救急医療の関係者間で連携ルールを運用できるよう、連携ルールの内容の検討や運用に向けた工程表の策定等に取り組む。

2. 方法

厚生労働省が主催する「在宅医療・救急医療連携にかかる調査・セミナー事業」に北見市として実施する。セミナーは2回の開催が予定され、北見市及び北見消防組合など関係各所が複数の先進事例を参考にしながら、運用に至るまでの具体的な工程表について検討・策定する。

3. 対象

北見市、北見地区消防組合、北見医師会(救急告示病院・在宅医療機関)、救急医療関係者(医師、看護師、薬剤師、MSW、介護支援専門員)など。(50名前後)

4. 実施主体

厚生労働省 医政局 地域医療計画課 外来・在宅医療対策室
(事務局：株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所 先端技術戦略ユニット)

5. 協力団体：北見市、北見市医療・介護連携支援センター

6. 日時：令和4年9月17日(土) 13:00～15:30

7. 場所：ホテル黒部 1階 大雪 (北見市北7条西1丁目1)

8. 費用：セミナー受講に係る費用(講師等の謝金やセミナー会場の費用等)は不要

9. 内容

セミナーのプログラムは、2部構成とし、1部は、政策動向の説明、先進事例紹介、北見地域における救急医療に関連する各機関の課題抽出をグループワークにて行う。2部は、1部の開催から一定期間後(3か月程度)に開催し、1部で課題について、解決へ向けた方法を検討し、今後の課題解決へ向けた協議体の組織化や工程を検討する。

10. その他

目的の達成に必要なと思われる演目については、厚生労働省 医政局 地域医療計画課、北海道保健福祉部 地域医療推進局 地域医療課及び北見保健所と調整する。

11. 申し込み・問い合わせ先

チラシの URL より Google フォームにて申し込み <https://forms.gle/cBd9xv7wrDI9Z9x8>

北見市医療・介護連携支援センター 北見市中央三輪2丁目302-1 北星記念病院内

電話 0157-51-1244 メール kitami.medicare@nouge.gr.jp

令和4年度 厚生労働省 主催

第1回

在宅医療・救急医療 連携セミナー

参加者を募集します



高齢者の救急搬送件数は増加の一途となり、最期までの在宅療養を希望していても病状が急変した際、本人の意思に沿わない救急搬送が増加することが懸念されています。本人の病状や希望する療養場所、延命措置に対する希望等、本人の意思を共有するための関係機関間の連携体制の構築が喫緊の課題と言えるでしょう。

そこで今年度、厚生労働省が主催する在宅医療・救急医療連携セミナーを北見市で開催します。

人生の最終段階における医療・ケアに関する本人の意思が尊重されるよう、在宅医療と救急医療の関係者間で、本人の病状、希望する療養場所、延命措置に対する希望等を共有するための連携ルールを運用できるよう、北見市、北見地区消防組合や在宅医療・救急医療関係者を対象に、連携ルールの検討や運用を協議します。
なお第2回目は令和5年1月頃を予定しています。

日時: 令和4年 9月17日(土)

13:00~15:30(開場12:30)

場所: ホテル黒部 (北見市北7条西1丁目1)

費用: 無料

高齢者の救急搬送の増加

本人の意思を共有する関係機関間の連携体制



延命措置に対する希望

人生の最終段階における医療・ケア

内容(1回目)

I 在宅医療・救急医療連携の現状と課題 (厚生労働省医政局 地域医療計画課)

II 地域事例紹介(オンライン)

大分県臼杵市の「うすき石仏ねっと」において、在宅医療・救急医療連携として、救急要請通報と同時に、消防署通信指令室から「うすき石仏ねっと」に接続し、DNAR情報・ACP・看取り希望などの情報を取得して情報共有する取り組みについてお話し頂きます。

ますとも かずひろ

講師: 舩友 一洋 先生 臼杵市医師会立 コスモス病院 副院長(循環器内科医師)

臼杵市医師会 医療福祉統合センター長

III グループワーク 事前課題の報告を含めた在宅・救急医療をテーマに実施

参加対象

北見市、北見地区消防組合、北見医師会(救急告示病院・在宅医療機関)、救急医療関係者(医師、看護師、薬剤師、MSW、介護支援専門員)、介護施設職員など。定員50名程度

申し込み

以下のURLをCtrlを押しながらクリックするか、右のQRコードを読み込んでお申し込みください

<https://forms.gle/cBd9xv7wrDiD9Z9x8> (Googleフォームが開きます)



実施主体: 厚生労働省 医政局 地域医療計画課 外来・在宅医療対策室

(事務局: 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所 先端技術戦略ユニット)

協力団体: 北海道、北見市、北見市医療・介護連携支援センター

お問合せ: 北見市医療・介護連携支援センター 北見市中央三輪2丁目302-1 北星記念病院 内

TEL 0157-51-1244 メール kitami.medicare@nouge.gr.jp